

# 国語

国語

[一]

(全員が解答) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

(高田理恵子「学歴・階級・軍隊」による)

注

(1) 「海ゆかば」一九三七年、国民精神総動員強調週間のテーマ曲として作られた軍歌。アジア・太平洋戦争時、ラジオ放送(大本营発表)で日本軍の玉碎を伝える際、必ず冒頭曲として流された。

(2) 「英霊の声」三島由紀夫の短編小説。二二六事件の青年将校と特攻隊員の霊が、天皇の人間宣言に憤り、呪詛する様を描いた作品。

国語

国語

問一 傍線部 a i e のカタカナを漢字に直せ。

問二 空欄 (X) (Y) (Z) にあてはまる最も適切な語を次のア～エから一つずつ選べ。

ア むしろ イ しかし ウ だから エ そして

問三 本文中には次の一文が脱落している。あてはめるのに最も適切な箇所を探し、その直前の五字を解答欄に記せ(ただし句読点を含む)。

こんな恐い顔で帰ってこられてはたまらない、ということだろうか。

問四 傍線部①「リメイク」の意味を十字以内で簡潔に記せ(ただし句読点を含む)。

問五 空欄 (A) にあてはめるのに最も適切な熟語を次のア～オから一つ選べ。

ア 哀傷歌 イ 厭戦歌 ウ 祝勝歌 エ 凱旋歌 オ 鎮魂歌

問六 傍線部②「亡霊たちが妙に厭しい顔をしている」とあるが、本文中ではその理由をどのように説明しているか。「亡霊たち」を具体的に示しながら七十字以内で記せ(ただし句読点を含む)。

(二) (選択問題) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

(志村ふくみ「季の移ろいに心ゆらく」一部改変による)

注 小倉山、愛宕山 それぞれ京都市右京区にある山。

紅三極 ジンチヨウケ科の落葉低木。

貝母 ユリ科の多年草。

問一 傍線部 a、e のカタカナを漢字で記せ。

問二 空欄 A には、二字以内の語が入る。当てはめるのに最も適切な語を、問題文中から探して記せ。

問三 空欄 B に入れるのに、最も適当と思われる四字熟語を、次の選択肢の中から選び、記号で答えよ。

- ア 遮二無二
- イ 暮色蒼然
- ウ 一日千秋
- エ 誠心誠意
- オ 不易流行

問四 問題文に次の文を挿入する場合、本文中の(1)～(5)のどこに入れるのが最も適当か。その番号を記せ。

・それどころか自然を切り刻んで自分達のたのしみに奉仕させている。

問五 傍線部①「途方もなく大切なものを失ったのではあるまいか」とあるが、具体的に何を「失った」と筆者は考えているのか。六十字以内でわかりやすく記せ(ただし句読点を含む)。

問六 傍線部②「生命のほとばしる塊のような清々しい思い」とあるが、具体的にどのような「思い」か。問題文全体を踏まえて六十字以内で説明せよ(ただし句読点を含む)。

[三] (選択問題) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

泉の大将、故左大臣にまうで給へりけり。ほかにて酒などまわり、酔ひて、夜いたくふけて、ゆくりもなくものし給へり。大臣おどろき給ひて、「いづくにもものし給へるたよりにかあらむ」など聞こえ給ひて、御格子あげさわぐに、壬生忠岑、御ともにおり。御階のもとに、松ともしながらひさまつきて、御消息申す。

「かささぎのわたせる橋の上を夜半にふみわけこそならに」や

となむのたまふ」と申す。あるじの大臣、「いとあはれにをかしたおほして、その夜、夜ひと夜、大御酒まわり、遊び給ひて、大将も物かづき、忠岑も禄たまはりなとしけり。

この忠岑がむすめありと聞きて、ある人なむ、「得む」といひけるを、「いとよきことなり」といひけり。男のもとより、「かの頼め給ひしこと」このころのほどにとなむ思ふ」といへりける返りことな。

国語

A わが宿のひとむらすすきうら若みむすび時にはまだしかりけり

となむ詠みたりける。まことにまだいとちひさきむすめになむありける。

(「大和物語」による)

注

泉の大将 藤原定国

故左大臣 藤原時平

御階 寝殿の南中央の庭におけるための階段。

壬生忠岑 泉の大将の隨身。「古今和歌集」の撰者のひとり。

かささぎのわたせる橋 本来は七月七日に牽牛星、織女星が逢う時、かささぎという鳥が翼を並べて作ったとされる橋だが、その後、宮中や貴人の邸宅を天上になぞらえてその階段をいう。

問一 傍線部①を現代語訳せよ

問二 傍線部②の現代語訳として最も適しているものを次の選択肢から選び、その記号を記せ

ア どこからおいでになったとご連絡をいただいたのでしょうか

イ どこにおいでになったついでなのでしょうか

ウ どなたのお知り合いなのでしょうか

エ どなたのつてでおいでになったのでしょうか

オ どこからお便りをくださったのでしょうか。

問三

主語③・④の主語として最も適しているものを次の選択肢からそれぞれ選び、その記号を記せ。

③ ア 泉の大將

イ むすめ

ウ 故左大臣

エ 壬生忠岑

④ ア 男

イ 泉の大將

ウ 壬生忠岑

エ ある人

問四

傍線部⑤のように考えた理由を具体的に説明せよ。

問五

傍線部⑥の内容を具体的に説明せよ。

問六

Aの和歌の内容に最も適しているものを次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア 私の家のすすきはまだお見せするほどのものではありません。

イ 私の家のむすめは幼いので結婚にははやすぎます。

ウ 私の家のひとむらのすすきのように私の若い娘は美しくなりました。

エ 私の家のすすきは娘と同じようにまだ美しくありません。

オ 私の家はまだすすきを植えるには早すぎます。

問七

「大和物語」と同じジャンルの作品を次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア 古今和歌集

イ 今昔物語集

ウ 宇治拾遺物語

エ 伊勢物語

オ 平家物語